

ロータリーの継続と変化のバランス

2月23日は天皇誕生日で、且つロータリーの創立記念日です。ロータリーはシカゴに誕生してから今年で119年を迎えました。

アメリカのオーランドでは、1月7日から11日まで国際協議会が開催され、RI会長エレクトが次年度会長テーマを発表しました。

次年度RI会長はステファニー・アーチックというアメリカ人女性で、次年度会長テーマを「ロータリーのマジック」として掲げ、多くの人を救うロータリーの力を魔法に喩え、この力を更に広げていくように呼びかけました。

彼女は、ロータリー活動の一環でドミニカでの浄水器設置に従事し、安全な水を供給することが現地の人々の人生を変える力となった経験から、「魔法はロータリーの会員次第です。プロジェクトを終える度、寄付する度、新会員を迎える度に会員がマジックを生み出します」と述べ、それにより「ロータリアン自身の人生も変わる」と唱えています。

国際協議会の講演で、彼女は、ロータリーの行動計画を推進する上で「継続と変化のバランス」を重視し、平和の促進を呼びかけました。2025年に「分断された世界を癒す」為に平和会議の開催を約束し、ロータリーは平和センターのネットワークを通じて平和フェローを中心に平和を促進して来た長い歴史があるとして、引き続いて平和を優先すると宣言しました。

そして、「継続と変化のバランス」は「行動計画の原動力」と強調し、「行動計画はロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」と、更に「私たちは継続と変化のバランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」と述べて、伝統を守り、同時に変化をすることが、クラブを魅力あるものにするという考えを示しました。

彼女はまた、ロータリーに好ましい変化を齎す方法としてDEI（多様性・公平さ・インクルージョン）の価値観の導入を唱えています。これには様々なご意見がある所ですが、RIとしては以上の様に「変化が今後の発展に繋がる」と考えています。

3月2日と3日に恒例の地区大会が開催されます。地区大会では、RIや地区の現状や次年度についての説明が予定されていますので、ロータリーを広い視野で知る絶好のチャンスです。様々な情報に溢れ、クラブにもロータリアンにも良い刺激となると思いますので是非、会員の皆様の積極的な参加を頂ければ幸いです。